

資料 5

素材・化学分野新事業情報共有プラットフォーム

ユニバーサル マテリアルズ インキュベーター株式会社

素材・化学分野の新事業における多くの悩み

DATE 2022/03/14

No. 2

- ✓ 日本はGDPの約1/3を素材・化学分野の産業で生み出す、素材・化学大国です。しかし、素材・化学技術を新事業に活かしたい、活かして欲しいという方々はこれまで「どこにコンタクトしたらまとまった情報があるのか」わからない、という状態でした。

技術を出したい人

- ✓ 素材・化学分野の新しい技術・製品を開発したが、どうアピールすれば良いかわからない
- ✓ 様々な紹介手段が世の中にあるが、自分のような素材・化学分野の技術に限らず幅広く扱われている為、本当に欲しい人に紹介できているかわからない

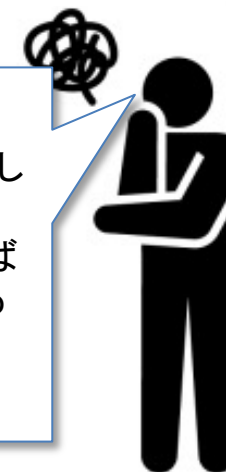
技術を使いたい人

- ✓ 素材や化学分野の技術だと、特許などを調べても、細かい個別の話しか書いておらず、どういう技術なのか、全体像がよくわからない
- ✓ 事業として考えたときに、様々な技術の情報が散在していて、どこにアクセスしたらよいかわからない

- ✓ 私の会社には様々な素材・化学分野の製造技術があるので、是非様々な新事業を興す人に使ってほしいが、どこにPRしたら良いかわからない



- ✓ 新しい素材技術を積極的に採用したいが、そのような新しい素材分野の技術はどこにアクセスすればまとめて情報を得られるのかかわからない

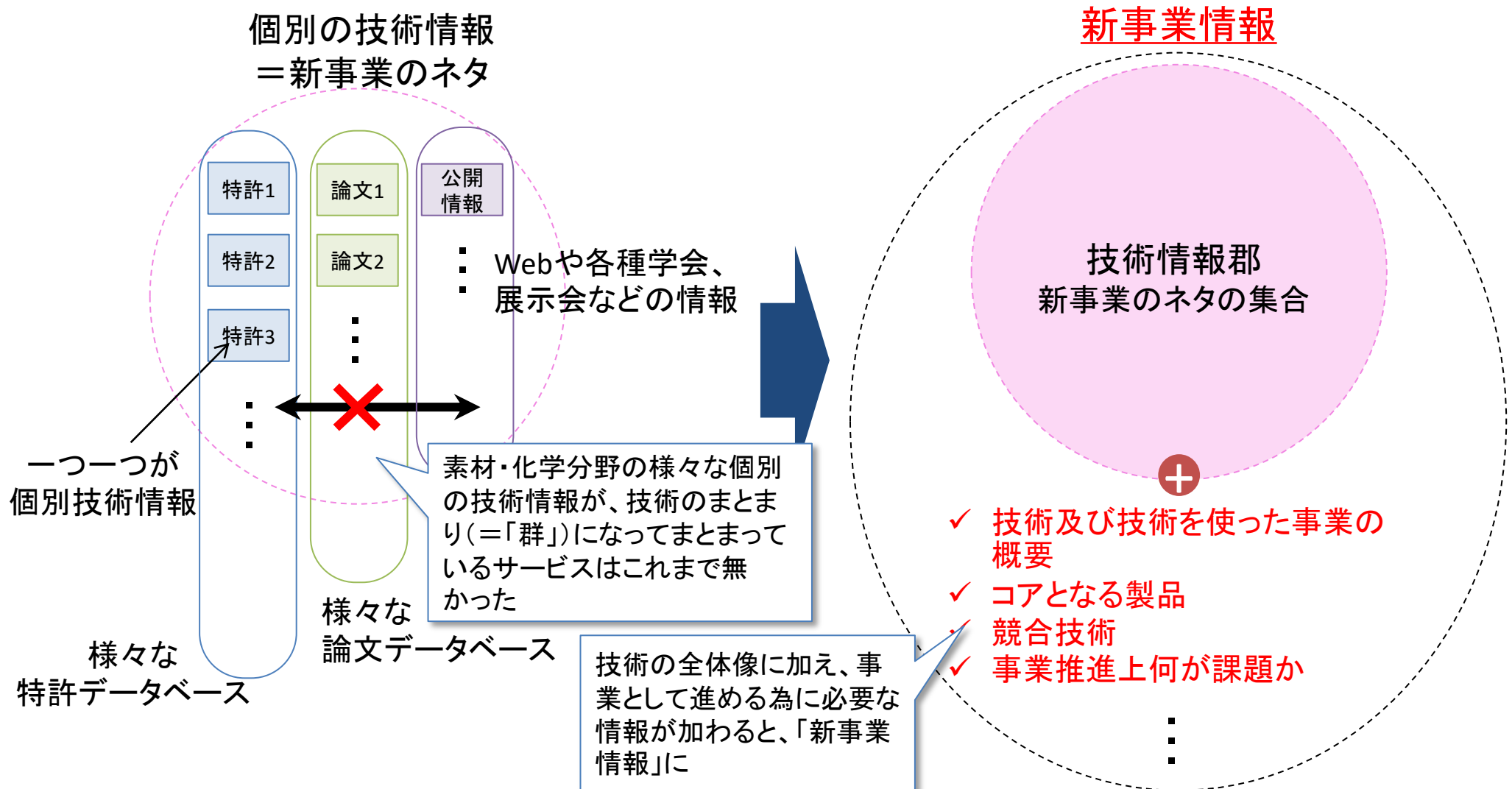


何故このような悩みが？ = 散在する「新事業のネタ＝技術情報」と新事業情報

DATE 2022/03/14

No. 3

- ✓ 何故このような悩みを抱えているのでしょうか？特に素材・化学分野の技術は特許や論文、Webベースの技術情報は多く公開されていますが、それらはいずれも個別の技術の情報であり、「どんな技術か？」という大きい括りになっていません。また、新事業として扱う為に必要な様々な情報はこのような技術情報と一緒に存在していないことが殆どです。この為、一つの情報を探すのに、多くの時間を費やしてしまう、という課題がありました。

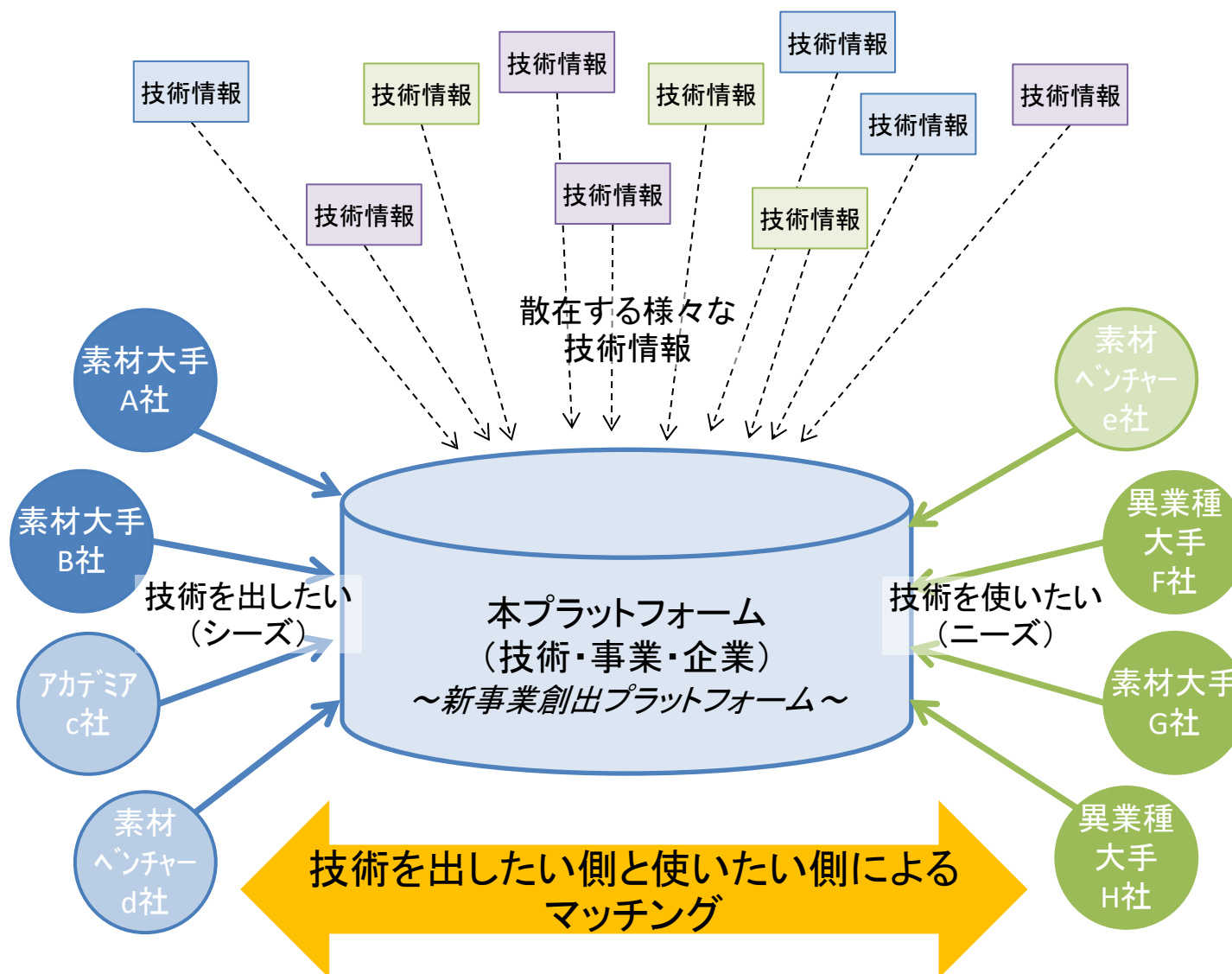


散在する素材・化学の新事業の「ネタ」を一箇所に

DATE 2022/03/14

No. 4

- ✓ そこで本プラットフォームでは色々な場所に散財する、素材・化学産業の新事業に関する技術情報を一つの場所に集め、技術を出したい人、使いたい人をマッチングさせよう、という素材・化学分野では唯一のサービスです。



パッと見てわかる新事業情報

DATE 2022/03/14

No. 5

- ✓ 様々なバックグラウンドの方々がパッと見てわかるように、共通の切り口で、出来るだけシンプルに技術情報・事業に関する情報をひとまとめにしている事が特徴です。

ロコ


ホーム 案件一覧 企業一覧 受託企業を探す 人材一覧 ログアウト

案件参照

OPPORTUNITY REFERENCE

検索する

検索結果

No.*	001	案件名*	可とう性ポリイミド	NDA	<input type="checkbox"/>
案件シート					
トレンド					
分類					
起業前					
差別化要素 (うれしさ)					
事業ステージ					
団体・企業名*					
郵便番号					
都道府県					
市区郡					
町名・番地					
責任者					
HP					
会社設立					
資本金					
主要株主					
関連企業					
情報ソース					
概要					
コア技術と主力商品					
競合					
知財取得状況					
マネジメント					
課題					
必要リソース					

この内容を印刷する

ロコ

ホーム 案件一覧 企業一覧 受託企業を探す 人材一覧

パッと見てわかる(約A4サイズ1枚程度)に技術・事業の概要がわかる基本情報や・写真・ポインチ絵を掲載

登録される情報のコンテンツ→協業を促進する上で必要な情報を網羅

DATE 2022/03/14

No. 6

- ✓ 新事業情報のみならず、「自分の会社はこんなリソースを持っている」といったリソース情報※を含め、様々な企業のマッチングが促進されるのに必要な基本情報を網羅しています。

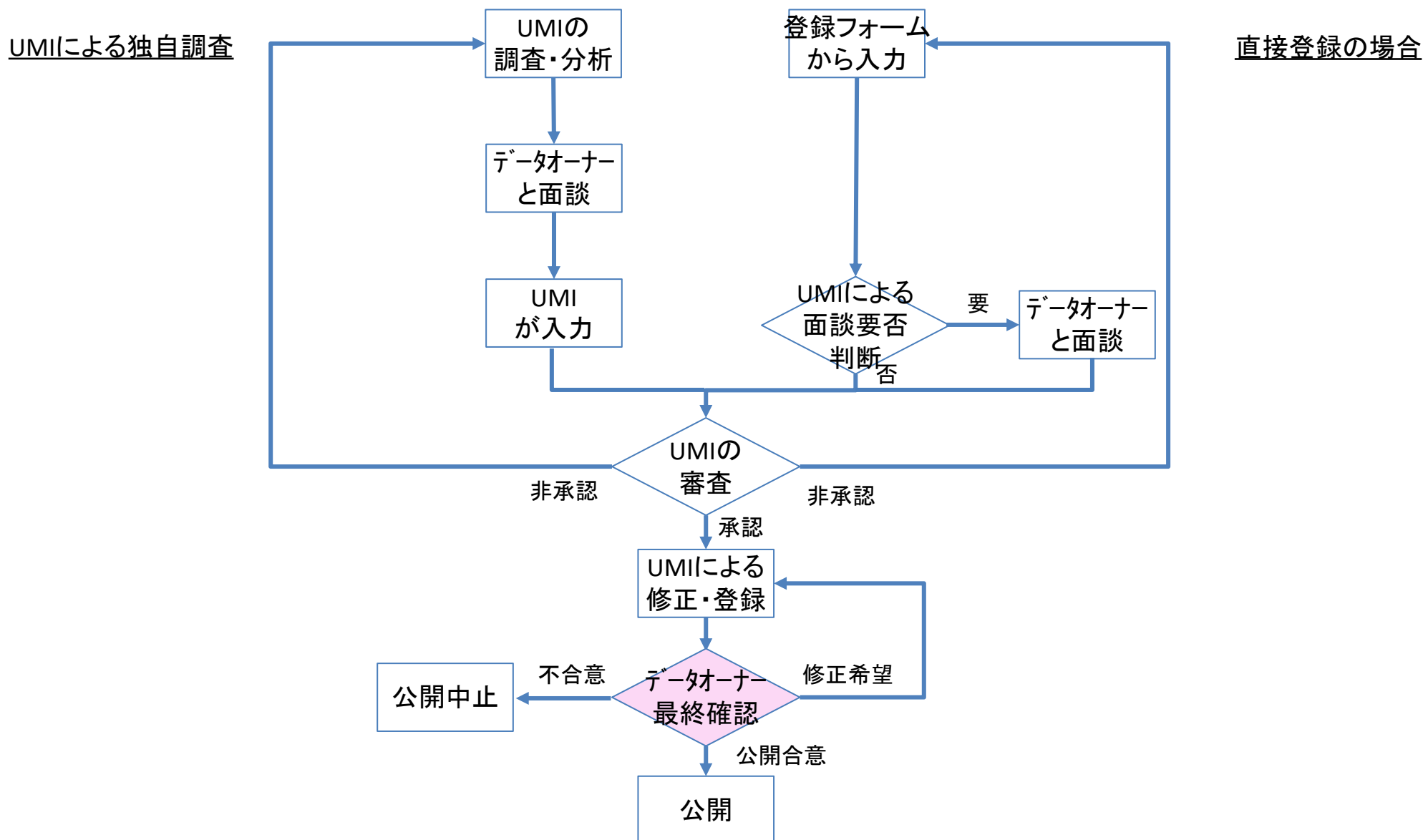
情報の種類	コンテンツ	内容	
新事業情報	基本情報	案件名	一言で理解できる案件名
		代表チャート	一目で内容が理解できるチャートまたはポンチ絵を貼り付け
		トレンド	どのようなユーザーニーズトレンドか
		分類	素材そのものか、それとも合成・加工技術か、それを使ったサービス、デバイスか
		起業前か否か	既に起業(企業化)されているか ※アカデミアシーズや企業のカーブアウトテーマの場合
		差別化要素	何が差別化要素・性能か(一言で)
		うれしさ	ユーザーが享受するうれしさ(一言で)
		事業ステージ	Stage1~5を記載
		団体・企業名	情報オーナーを記載(企業DBと連動)
		リーダー	リーダーを記載(人材DBと連動)
		関係者	関係する人材を記載(人材DBと連動)
		企業基本情報	創業年、株主、HP等々
		概要	事業、技術についての概要を300-1,000字程度で解説
		コア技術	構成されるコア技術
		主力商品	コア技術を使った主力商品
		競合	想定される競合情報
		知財の取得状況	特許リスト
		リーダー・マネジメントの概要	リーダーについての概要情報(人材DBと連動)
		課題	事業推進上の課題
		必要リソース	足りていないリソース、知見
企業情報	基本情報	企業の基本情報	企業名、設立年、所在地等々
		関連案件	資本関係や対外的に発表している協業案件を記載(案件DBと連動)
	リソース情報	公開選択	公開するかどうかを決められる
		得意技術	得意な技術領域
		提供サービス	実際に提供しているサービス(ex.受託製造、コンサルティングetc)
		保有分析機器	保有している(外部公開可能な)分析機器の一覧
		保有製造装置	保有している(外部公開可能な)製造装置の一覧
拠点情報	どこで何をやっているか		

新事業案件登録の流れ～案件は直接登録も可能

DATE 2022/03/14

No. 7

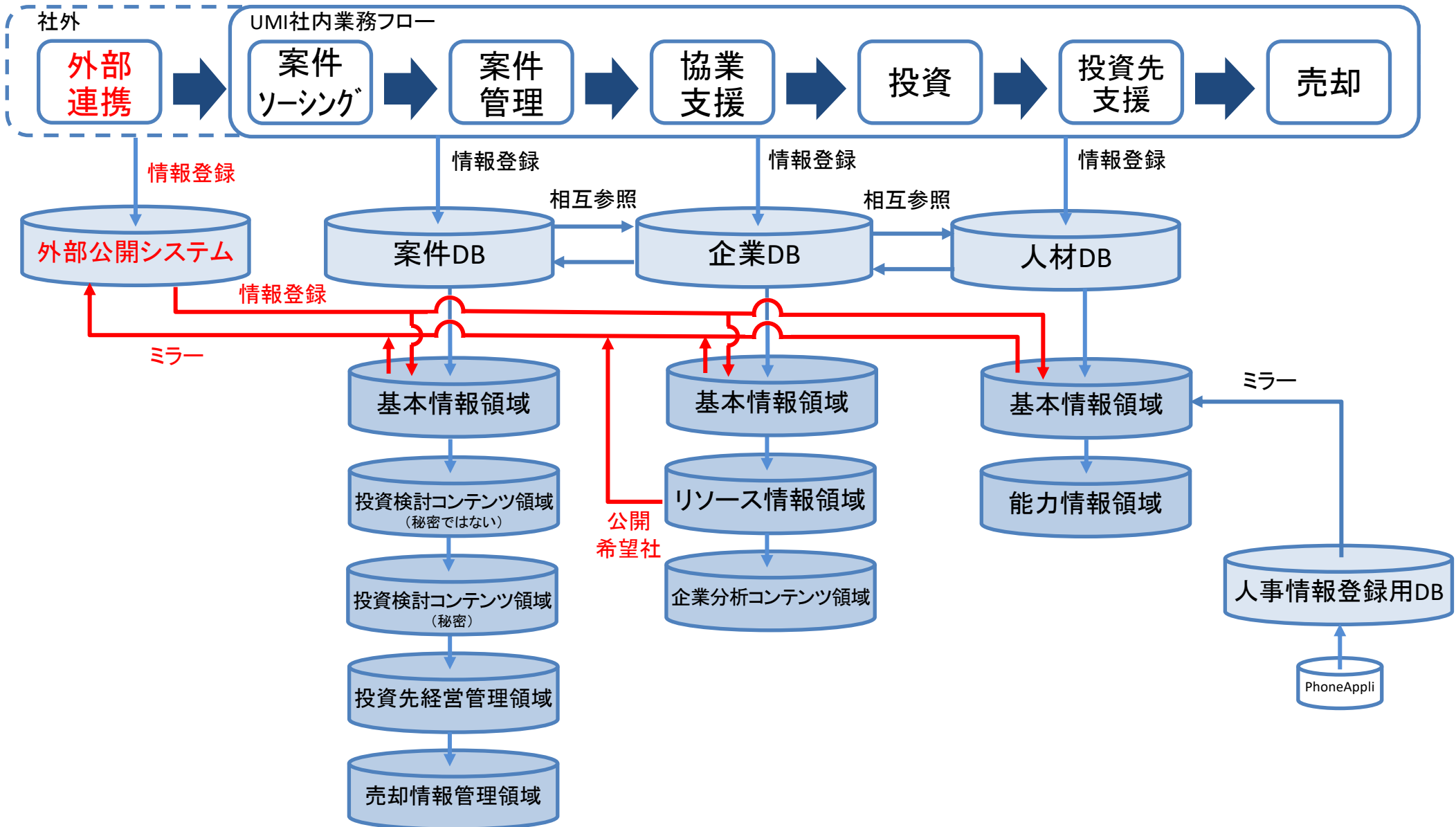
- ✓ 本プラットフォームは素材・化学分野に特化したベンチャーキャピタルであるユニバーサルマテリアルズインキュベーター株式会社(UMI)が、日々様々な情報を探索して登録している他、登録フォームから登録する事も可能です。



元々は・・・UMIの投資検討データベースの一部を公開している

DATE 2022/03/14

No. 8



様々な利用シーン

DATE 2022/03/14

No. 9

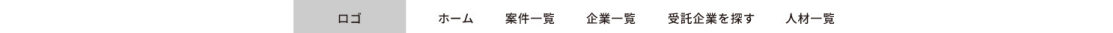
- ✓ 素材関連技術の新規事業・技術を探している大企業(素材・化学系に限らず)
- ✓ 新事業を行うにあたって必要リソース・技術・事業を探している企業(ベンチャー・大企業に限らず)
- ✓ 自社の素材関連技術の新事業をカーブアウトしたいと考えている大企業(素材・化学系に限らず)
- ✓ 企業に対し新事業創出コンサルティングをしたいと考えている戦略コンサルティングファーム
- ✓ 自社のリソースを何か新規事業に活用して欲しいと考えている素材・化学企業
- ✓ 自社が有している技術の思わぬ新しい用途を発掘して欲しいと考えている企業
- ✓ 新しい企業に投資・発掘をしたいベンチャーキャピタル等の金融業

...etc

システムイメージ

DATE 2022/03/14

No. 10



情報源としての外部連携と、データ利活用

DATE 2022/03/14

No. 11

- 当該システムの稼働開始に合わせ、情報源となる各機関との連携を図りたい・・・有料サービスとする事で一定のクローズド環境を担保するものの、幅広く公開していきたい

情報源

【国】

中小企業庁(中小機構、中小企業再生支援協議会)・各経済産業局(中小企業の情報)

NEDO・JST・AMED(補助金情報)

国立研究機関、国立大学(アカデミアの情報)

【非営利団体】

(一社)日本化学工業協会

(公社)新化学技術推進協会

(一社)ナノテクノロジービジネス推進協議会

各種学会

【民間】

私立大学(アカデミアの情報)、銀行、VC、証券会社などの金融業(幅広い企業情報)、素材・化学産業企業
entrepedia(SPEEDA傘下)

データ利活用者

【無料で利用できる群】

アカデミア、国系機関

非営利団体

ケムeデータ参画企業

UMIの業務提携企業

UMIファンドの参画企業(LP企業)*

*UMIファンドのLP企業は見られるDB階層が一段深い

【有料で利用できる群】

上記以外のユーザー*

*ユーザー費用支払えばUMIファンドに非参画の素材・化学系企業でも閲覧可能

各機関が持っている情報・DBへのリーチによる登録
各機関からの関係先へのアナウンス(外部からの登録促す)

現在の状況

DATE 2022/03/14

No. 12

- ✓ 元は「必要に迫られて」作ったデータベース・・・LP向けのサービスの一貫で公開することを検討していたところで、一般公開も含めて検討することに
- ✓ 平成29年度補正予算「産業データ共有事業」において「素材・化学分野における新事業情報共有プラットフォーム構築事業」として採択
- ✓ 現在の案件登録数は888件、企業登録数は3,608社、人材登録数は12,672人（2022年3月10日現在）
- ✓ 現在はUMI運営ファンドのLPのみに公開・・・概ねLP1社あたり20～30人のユーザー・・・ユーザー総数は約500ユーザーほどだが、UMIのLPは日常的に本データベースを活用しており、盛んにLPである大企業と、スタートアップ・アカデミア・中小企業・大企業カーブアウトテーマとの連携、マッチングが行われている
- ✓ 外部からのデータ登録、一般公開はまだしておらず（準備中）、UMIメンバーが人海戦術で案件を登録
- ✓ 国のデータベース含む、他社データベースとの連携は現時点では出来ていない

データベース事業運営現場からの示唆

DATE 2022/03/14

No. 13

- ✓ UMIはあくまで「素材・化学」に特化しているが、本来的には他産業でも広く似たようなサービスがあっても良いはず(何故か、競合らしい競合がない)・・・現時点では構築に相当な労力が必要な為か？→もっとオートマティックに情報が整理出来ないか
- ✓ 特許単品では事業には絶対にならない・・・技術のひとまとまりとしての特許群のカテゴライズ、周辺のノウハウ、そしてその技術そのものをハンドリングする「人」が必須
- ✓ 一方で、現在は特許単品のデータベースしかない→本当は技術のひとまとまり、そして、その技術を産んだ人・企業(そしてその背景)にリーチしたい
- ✓ パブリックデータベースはデータ蓄積場所と割り切り、民間のデータベース活用事業者インターフェイスを任せ、インターフェイス設計上、意味のある機能を持たせるというのでも良いのではないか？

